

第30回(2018年度)支援グループ

支援金部門 19グループ (申請数:206件) 支援金額:合計 1105万円

グループ名	主な活動内容	支援金の使途	所在地
NPO法人みんなのボラリス	若年性脳梗塞当事者や家族同士の交流・啓発活動	ポッチャセット	北海道帯広市
生活介護事業所くれーる	障害当事者が公園の清掃や紙すき活動を行う	タブレットPC	札幌市
NPO法人つがるしあわせ工房	障害当事者が農作業や食品加工などを行う	オープン、フードプロセッサ	青森県つがる市
みやぎ化学物質過敏症の会～びゅあい～	化学物質過敏症の情報提供や当事者たちの交流	化学物質対策テント、浄水器	宮城県名取市
NPO法人ふれあいサポートさくら	機能訓練と介護予防に特化したデイサービス	システムバス	千葉県鴨川市
NPO法人シェア・マインド	食料提供や無料スーパーなどでの生活困窮者支援	大型冷蔵庫、炊飯器	東京都多摩市
NPO法人農スクール	農作業での生活困窮者やホームレスの自立支援	ビニールハウス、管理機	横浜市
新潟市精神障害者自助グループ「ココカラ」	精神障害当事者による当事者支援と居場所の運営	精神障害者実録マンガの製本代	新潟市
NPO法人NPOホットライン信州	生活必需品の提供や相談などでの生活困窮者支援	収納倉庫	長野県松本市
NPO法人トオの家	24時間365日対応の小規模多機能介護事業所	サンルーム	金沢市
NPO法人道	医療的ケア児や重症心身障害児者の通所施設	コミュニケーション支援機器	滋賀県彦根市
NPO法人アブリ	音楽や芸能での高齢者福祉施設訪問活動	ミュージックベル	京都市
おはなしたまご	子どもや高齢者向けの読み聞かせ	手袋人形、パネルシアター道具	京都府木津川市
NPO法人音楽サポートネット音結	音楽療法を中心とした障害児通所事業所	ジョイントマット	大阪府和泉市
奈良県音訳グループ草笛会	録音図書制作	マルチメディア図書制作ソフト	奈良県橿原市
くまもと発達支援親の会「めだか」	発達障害のある子どもと保護者同士の交流	感覚統合用遊具	熊本市
在宅支援研究所とてとココロ	医療福祉の多職種連携による障害者、高齢者支援	コミュニケーション支援機器	熊本市
渡川いこいの郷加工グループ	高齢者・障害者対象の生活支援サービス	スチームコンベクションオーブン	宮崎県美郷町
NPO法人重症心身児童発達支援ToiToi	医療的ケア児や重症心身障害児者の通所施設	入浴用ストレッチャー、発電機	沖縄県沖縄市

リサイクルパソコン部門 19グループ (申請数:92件) 支援台数:45台

グループ名	主な活動内容	パソコンの使途	所在地
太田道草の会	ひきこもり当事者や家族の交流や情報交換	就労に向けたパソコンスキルの習得	群馬県太田市
点訳グループうらわ	図書や印刷物などの点訳	作業の効率化と点訳者育成	さいたま市
グループ・プライユ	教科書や絵本などの点訳、テキストデータ化	作業の効率化	千葉市
習志野市愛朗会	デジタル音声図書(デジラー図書)の制作	作業の効率化	千葉県習志野市
浦安拡大写本一べ	拡大教科書や拡大絵本の作成	質の向上と作業の効率化	千葉県浦安市
NPO法人FLAGS	障害当事者による木製品の制作	デザインの多様性と販売強化	東京都府中市
NPO法人フードバンク横浜	食料や日用品提供での生活困窮者支援	パソコン学習中心の無料塾開設	横浜市
ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in横浜	ひきこもり当事者支援と居場所の運営	当事者同士の交流や情報交換	横浜市
要約筆記学習サークル ゆうあい	講演会や会議などの要約筆記やノートテイク	要約筆記、ノートテイクの拡充	新潟市
NPO法人えんしゅう生活支援net	高次脳機能障害者の生活訓練、就労支援	操作とコミュニケーションの訓練	静岡県浜松市
ニューカナリヤサークル	市の広報や福祉情報などの音声テープの制作	デジタル録音図書の制作開始	富山県小矢部市
パソコン大津・かいつぶり	障害者や高齢者に特化したパソコン教室	視覚障害者対象のパソコン学習	大津市
NPO法人あそーと	障害当事者による古本のインターネット販売	古本販売作業の効率化	大阪市
NPO法人つくし野会	障害当事者がさをり織りや農作業を行う	POPやデザインの品質向上	奈良県広陵町
檜の木グループ	デジタル音声図書(デジラー図書)の制作	作業の効率化とテキストデータ化	兵庫県洲本市
朗読ボランティアグループ潮騒	音声図書の制作	デジタル録音図書の充実化	兵庫県洲本市
NPO法人播磨オレンジパートナー	認知症当事者や家族の支援活動	当事者や家族、支援者らの交流	兵庫県たつの市
長崎市要約筆記会なごみ	講演会や会議などの要約筆記	パソコン要約筆記の開始	長崎市
ブチ・コバン	子どもや保護者、不登校児などの居場所運営	高齢者と子ども向けプログラミング	宮崎市

災害復興支援部門 1グループ (申請数:22件) 支援金額:合計 100万円

グループ名	主な活動内容	支援金の使途	所在地
NPO法人爽気流	障害者や高齢者、地域住民のコミュニティカフェを運営。2016年の熊本地震では拠点の建物が倒壊したが、食物アレルギーのある人に食材を提供したり、障害などのために避難所では過ごせない人々のためにトレーラーハウスを設置した	キャンピングカーの修理	熊本県益城町

第31回 NHK厚生文化事業団

地域福祉を支援する わかば基金

2019年度 募集要項

3つの方法で、
ボランティアグループやNPOの活動を応援します。



「わかば基金」は、地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための支援をしています。これまでに、748グループに「支援金」や「リサイクルパソコン」を贈呈してきました。また、自然災害の被災地で福祉活動を展開しているグループを応援する部門もあります。福祉にとって厳しい時代だからこそ、「わかば基金」は地域に芽吹いた活動をもっと応援していきます。多くのグループからの申し込みをお待ちしています。

主催 社会福祉法人 **NHK** 厚生文化事業団

後援 **NHK**

協力 NHK関連団体 NPO法人 イー・エルダー

募集部門

◆支援金部門：1グループにつき、最高100万円(10グループほどを予定)

<対象>
国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ。

○ 対象となる活動例		
地域の高齢者や障害者、生活困窮者などの日常生活を支援したり、さまざまなサービスを提供している。 (在宅か施設かは問いません)	障害者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援にあたっている。	文化・芸術活動などを通じて、障害や年齢の枠をこえた交流や相互理解をはかっている。
✕ 対象外		
<ul style="list-style-type: none"> ●「わかば基金」の申請と同じ内容で、行政や他財団等の助成を受けている、もしくは受ける予定。 ●法人格を持っている。(NPO法人は申請可) ●人件費、謝礼、家賃、交通費、グループ運営などのランニングコストや事務経費。 ●設立資金。 		

※パソコンを希望するグループはリサイクルパソコン部門に申請してください。支援金でのパソコン購入はできません。

◆リサイクルパソコン部門 ノートパソコン 総数50台程度 (贈呈台数 1グループにつき、3台まで)

※なお、このリサイクルパソコンは、NHKとNHK関連団体の協力を得て提供します。

<対象>
パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障害者に役立ち、活動の充実を図れるグループ。

○ 対象となる活動例			
地域の高齢者や障害者、生活困窮者などへパソコン指導のサービスを提供している。 (在宅か施設かは問いません)	障害者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援にあたっている。	要約筆記や字幕、音声や点訳などでの情報保障。	福祉情報の提供やネットワークづくりを通して、地域の福祉活動の向上につとめている。
✕ 対象外			
<ul style="list-style-type: none"> ●法人格を持っている。(NPO法人は申請可) ●職員やスタッフなどが行う運営業務や事務処理での利用。 			

○注意点(必ずご確認ください)

- パソコンはリサイクル(クリーニング・メンテナンス済)したものです。機種は選べません。
- 搭載予定ソフト(正規版を新たにインストール) OS = Windows 10 Home Premium アプリケーション = Office 2019 Personal (Word, Excel, Outlook)
- 無線LANの内蔵・外付けは選べません。
- 設置はグループで行ってください。

■リサイクルパソコンについては、下記の贈呈条件をご理解ください。

1. 初期故障対応を除いて、贈呈するパソコンについての保証は一切ありません。
2. 該当パソコンを他の団体、個人、海外の団体や企業などへの譲渡または販売などは禁じます。
3. 寄贈後に当該パソコンから生じる一切の責任は寄贈を受けた団体にあり、使用の結果生じるいかなる損害賠償も請求できません。
4. 原則として、当該パソコンの返品や交換には応じられません。
5. 当該パソコンが不要になった場合は、寄贈を受けた団体の責任ですべてのデータを消去したうえ適切な産業廃棄物処理をしてください。
6. すでにインストールされているソフトウェアの使用にあたっては、マイクロソフト社の定める事項を遵守してください。

◆災害復興支援部門：1グループにつき、最高100万円(5グループほどを予定)

- <対象>
- 東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた地域に活動拠点が有り、福祉活動を通してその地域の復旧・復興をすすめているグループ。
 - 被災地に必要な新たな福祉事業を展開したい、と考えているグループ。

○ 対象となる活動例		
被災地域で暮らす高齢者や障害者、生活困窮者などの日常生活を支援したり、さまざまなサービスを提供している。 (在宅か施設かは問いません)	新たな事業を展開するために必要な物品をそろえたい。	福祉情報の提供やネットワークづくりを通して、地域の生活再建・福祉向上につとめている。
✕ 対象外		
<ul style="list-style-type: none"> ●法人格を持っている。(NPO法人は申請可) ●人件費、謝礼、家賃、交通費、グループ運営などのランニングコストや事務経費。 ●設立資金。 		

※パソコンを希望するグループはリサイクルパソコン部門に申請してください。支援金でのパソコン購入はできません。

申し込み方法

申請書の「記入上の注意」をよく読み、必要事項を漏れなくご記入のうえ、お申し込みください。
(申請書はホームページからダウンロードができます) <https://www.npwo.or.jp>

- * 支援金部門、リサイクルパソコン部門、災害復興支援部門のいずれかを選んでご記入ください。(複数部門への応募は受け付けません)
- * 日本国内に活動拠点があるグループを対象とします。
- * 郵送のみ受け付け。(FAX・メール不可)
- * 申請書は必ず、第31回 のものをご使用ください。(以前の用紙では受け付けません)
- * グループ資料の添付の有無は、支援決定に影響はありません。ただし、次の①②(リサイクルパソコン部門は①のみ)の資料は添付してください。
①2017年度の収支報告書(活動計算書など)A4用紙1枚にまとめたもの/対象:全部門
※2017年度のものがない場合には、2018年度の収支見込みが分かるもの
②使用項目の見積書/対象:支援金部門・災害復興支援部門
※見積書が出せないものは予算書を必ず添付してください。
- * お送りいただいた応募書類や関係資料はお返ししません。予めご了承ください。
- * 申請書に記載された連絡先などの情報は、適正に管理し、わかば基金に關係する連絡のために利用させていただきます。
- * 記入された申請書はコピーを取って、お手元に保管してください。

申請受付期間	2019年2月1日(金)～3月29日(金)必着【郵送のみ】
結果発表	2019年6月末に、申請したグループに文書で通知します。 *なお、選考結果や選考内容などのお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。
選考	当事業団内に設けられた選考委員会で審査のうえ、支援先を決定します。 [選考委員](五十音順 敬称略) 同志社大学 社会学部 教授 上野谷 加代子 NPO法人 JHP・学校をつくる会 代表理事 小山内 美江子 社会福祉法人 オリーブの樹 理事長 加藤 裕二 株式会社ユーディット 会長 関根 千佳 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋 良太 東京学芸大学 名誉教授 松矢 勝宏 NHK制作局 制作主幹 NHK厚生文化事業団 理事長

必ずご確認ください

- 次の事由による場合には支援金の返還を求めるともあります。
①支援金により取得した物件・物品などを申請目的に反して使用、譲渡、貸し付け、または廃棄した場合。
②年度内にNPO法人以外の法人格を取得される場合。
- 支援先に選ばれたグループには、活動の様子について放送などの取材に協力していただく場合があります。
- 支援金は2019年7月から2020年3月までの間に必ず活用し、その様子を報告いただきます。
- リサイクルパソコンは、2019年8月頃に寄贈を予定しております。到着から2020年3月までの間に必ず活用し、その様子を報告いただきます。

申し込み・問い合わせ先

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団 「わかば基金」係
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1
TEL 03-3476-5955 (平日10:00～18:00) mail: info2@npwo.or.jp